

一般社団法人 日本家政学会 家族関係学部会ニューズレター
Council on Family Relations, Japan Society of Home Economics



2021 年度 第 1 号 2021.6.28 発行



編集 永田晴子

発行 家族関係学部会事務局

***** INDEX *****

- 部会長より
- 第 41 回家族関係学セミナーのご案内
- 編集委員会より
- 会計より
- 石川実先生を偲んで
- 庶務（会員管理担当）より
- 2021 年度「第 6 回辻村みちよ賞」募集のお知らせ
- 2020 年度事業報告
- 2020 年度収支計算書

☆☆☆ 部会長より ☆☆☆

山根真理（愛知教育大学）

昨年 10 月、部会初のオンライン会議となった第 40 回家族関係学セミナーを経て新役員会の活動を始めてから 8 ヶ月余が経過しました。この間、Zoom を使った役員会にも慣れ、ウィズコロナ、さらにポストコロナの生活をも意識して部会の運営を進めています。実行委員会からの案内にありますように第 41 回セミナーもオンラインで開催します。第 42 回セミナーの開催校は大妻女子大学にお引き受けいただきました。2022 年がどのような状況か、まだ読めませんが、韓国家族関係学会（KAFR）との学術交流を何らかの形で実現することを視野に入れ、前進していきます。

部会員の皆様には事後報告になりますが、5 月に開催された日本家政学会第 73 回大会に際し、家政学原論部会企画にお声がけいただき、「新型コロナ・パンデミックを超えて、家政学・家政学原論の今日と未来の方向性を探る：国連 SDGs や国際家政学会が提起するもの」のテーマの下、家族関係学部会の取り組みについてお話する機会をいただきました。「家族関係学は SDGs に関連して、どのようなことを考えてきたか」について部会誌特集から考えました。家族関係学部会は SDGs を謳う特集を組んだことはありませんが、若者の自立、経済不況のなかの子どもと家族、「子ども」「高齢者」「ひとり親」など社会の中で弱い位置にいる人々のウェルビーイング、グローバル化と多文化共生、ワーク・ライフ・バランスなど、国連 SDGs の開発目標に関連し、個人・家族・社会の持続可能性に関するテーマを多く扱ってきています。この作業を通してわかったのは、家族関係学が SDGs やポストコロナ社会など、現代の世界的共通課題に対する潜在的応答力をもっている、ということです。家族関係学の立場から、ポストコロナ社会に向けた持続可能な生活についても発信し、社会的な応答責任を果たしていければと思います。

第41回家族関係学セミナーのご案内

吉田あけみ（第41回家族関係学セミナー実行委員長／相山女学園大学）

■日程およびプログラム概要

10月9日(土) オンライン(ZOOM会議システム使用予定)にて開催

10:00～12:00 自由報告

13:00～16:00 シンポジウム

テーマ：「家庭科は多様な家族をどう教えるか」

登壇予定者：村田晋太郎先生（三重大学 准教授）

綿引伴子先生（金沢大学 教授）

久保翔太先生（愛知県南知多町立師崎中学校 教諭）

山田真希先生（愛知県立松蔭高等学校 教諭）

16:10～17:15 総会

■「自由報告」の募集

自由報告申し込み期限：2021年7月19日（月）必着

本年度よりE-mailのみでの申し込みとなります。

報告要旨の締め切り：2021年8月19日（木）必着

■プログラムのご案内と参加申込み

「プログラムのご案内と参加申込み」は8月中旬に発送する予定です。参加費、自由報告の申し込み等、詳細につきましては、6月上旬に送付しました「第41回家族関係学セミナーのご案内と自由報告募集のお知らせ」をご覧ください。

■連絡先：第41回家族関係学セミナー実行委員会事務局

〒470-0136 愛知県日進市竹の山3丁目2005番地 相山女学園大学 人間関係学部 吉田あけみ

Tel：0561-74-1186（代表）

E-mail：ayoshida@sugiyama-u.ac.jp

★ ☆ ★ 編集委員会より ☆ ★ ☆

表 真美 (編集委員長/京都女子大学)

編集委員会は、今年度は9人体制で『家族関係学』No. 40の12月刊行に向けて編集作業を進めています。

編集に関わる仕事で一番重要なのは投稿論文の受付・査読審査・掲載ですが、今年度は残念ながら投稿論文数が少なく、締め切りを延長しました。部会誌の質をいっそう高めていくには、より多くの投稿が必要です。**次号の投稿締め切りは2022年3月末日の予定**ですので、最新の投稿規定・執筆要項をご確認いただき、ぜひ今からご準備いただきますよう、何卒よろしく願いいたします。

今年度は40周年の記念号です。昨年10月に行われた40周年記念行事、40周年記念シンポジウムの報告に加えて、40周年編集委員会企画の掲載を予定しています。政策動向についても企画していますのでご期待ください。

また、書評・文献紹介では前年5月1日から今年4月30日までの間に刊行された、部会員が執筆に関わったすべての文献を対象として検討しています。皆さまには編集委員会宛てに積極的に献本いただくなど、多くの情報をお知らせくださいますようお願いいたします。

刊行後の編集作業として、部会誌の発送業務、さらにJ-STAGEへの電子ジャーナル掲載があります。刊行後、当該年度内にすみやかに公開できるように計画しています。電子ジャーナルは、下記サイトからご覧いただけますので、ご確認ください。

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjfr/_pubinfo/-char/ja

このほか、編集委員会宛てにご要望等がございましたら、ぜひ忌憚のないご意見をお寄せください。

★ ☆ ★ 会計より ☆ ★ ☆

大風 薫 (会計/京都ノートルダム女子大学)

2021年度部会費として5,000円(学生会員2,000円)を請求させていただきます。請求書は6月中旬に送付しています。払込取扱票にて納入くださいますようお願いいたします。前年度までの未納分のある方には、納入いただく金額を「年会費納入のお願い」に記載しております。

学生会員として2021年度会費の入金を希望される方は、学生証の写しを家族関係学部会事務局まで、郵送、画像のメール添付のいずれかの方法でお送りください。詳しくは、家族関係学部会ホームページのトップページをご覧ください。所定の手続きを行わずに学生会員の年会費を入金されても、学生会員として認められません。ご不明の点がございましたら、下記までご連絡ください。

年会費振り込み先：(郵便振替) 00310-6-30229 家族関係学部会
連絡先：京都ノートルダム女子大学 大風 薫 〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1
Tel : 075-706-3672 E-mail : inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)

★を@に置き換えてください

== 訃報 ==

本部会の名誉会員であられる石川実先生が、2021年5月20日にご逝去されました。享年84歳でした。家族関係学のみならず社会学、家政学の発展にご尽力され、数々のご業績を残されました故石川実先生に、会員の皆様と共に哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。

故石川実先生より薫陶を受けた会員の宮坂靖子先生より、追悼文をお寄せいただきました。

(部会長 山根真理)

■■■ 石川 実先生を偲んで ■■■

宮坂靖子 (金城学院大学)

石川実先生との出会いは、1974年4月、私が奈良女子大学家政学部生活経営学科へ入学した時であった。といっても、1年次には先生が担当された講義はなく、2年次の「社会学概論」の受講が今日に至る長い師弟関係の端緒となった。アメリカ (スタンフォード大学) やフランス (国立科学研究センター) での在外研究で腕に磨きをかけた新進気鋭の研究者という雰囲気漂わせた先生の「僕のワイフは…」に田舎者の私は面食らった。

石川実先生は1937年に島根県益田市でお生まれになり、京都大学で学ばれた後、九州工業大学を経て、1973年に奈良女子大学家政学部 (現生活環境学部) に助教授として赴任された。学内にあっては、生活環境学部長、附属図書館長などの要職を歴任された。また学外にあっては、本部会長 (1996～1998年) をはじめ、社会学系の学会でご活躍されたが、中でも本部会には強い思い入れを持っておられ、セミナーにはほぼ毎年参加された。2000年3月に奈良女子大学を定年退官され名誉教授となられた後は、ノートルダム清心女子大学大学院教授を経て、放送大学奈良学習センター所長に就任された。2016年にはこれらの功績が称えられ瑞宝中綬章を受勲された。

石川実先生のご専門は、構造機能主義、社会的交換理論を軸に据えた理論社会学で、特に R・K. マーティンに私淑されていた。その後、理論社会学をベースにアイロニーの社会学から家族社会学、ライフコースの社会学へとその研究領域を広げられ、多数の著書、論文を発表された。主著『嫉妬と羨望の社会学』(世界思想社、2009) ご執筆時には、イスラエルの哲学者ベン=ゼエブの論考との出会いがいかに衝撃的であったかを生き生きと語っておられた。哲学者の嫉妬・羨望論を社会学的な分析モデルへと組み替えるためにかなり格闘されていたご様子だった。

シャープで的確、そのうえユーモアとウィットが散りばめられた流暢な弁舌の持ち主の先生は、学生思いで世話好きな先生でもあられた。学生の指導は大変厳しかったが、先生の愛情に裏打ちされていたため多くの学生に慕われた。「研究者である前にまっとうな人間たれ」これが先生の口ぐせであった。

『ソシオロジ』(2021年)の『『すべて掲載』問題をめぐる苦闘』(『ソシオロジ』第65巻3号別冊「ソシオロジ200号あゆみ」)が絶筆となった。編集委員長のご経験のあった先生に寄稿の依頼があったのは、ガン告知を受けられてからであった。それでも先生はこの原稿を執筆されることをとても楽しみにしておられた。今年3月6日には初稿ができたので目を通して欲しいというメールを頂戴した。

「昨日と今日は少し起きていることができ、とてつもなく嬉しい日」と記されていた。先生の文章は最後まで精緻でエレガントで、「先生のような文章が書けたら…」という叶わない想いがいっそう募った。

先生から賜った薫陶とご恩情に衷心から感謝申し上げ、謹んで哀悼の意を表します。

★ ☆ ★ 庶務 (会員管理担当) より ☆ ★ ☆

山下美紀 (庶務/ノートルダム清心女子大学)

○ご住所・ご所属・会員区分の変更、入・退会のご希望、メーリングリスト (ML) へのメールアドレスの登録・変更がございましたら、家族関係学部会事務局までご連絡ください。

○バックナンバーの購入について

「家族関係学」の在庫は、30号 (10冊)、31号 (8冊)、32号 (9冊)、33号 (6冊)、34号 (10冊)、35号 (10冊)、36号 (5冊)、37号 (31冊)、38号 (21冊) 39号 (53冊) です。1冊2,000円で購入できます。購入希望の方は、下記の連絡先までお知らせください。ご所属の図書館等の蔵書としてもお買い求めいただきますようお願いいたします。

なお、『家族関係学』の在庫の保管・販売は2017年7月から、よしみ工産株式会社東京事務所に業務委託しています。購入希望者の方には、よしみ工産株式会社より郵送されます。

連絡先：ノートルダム清心女子大学 山下美紀

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 Tel:086-252-2142 Fax:086-252-5145

E-mail: inquiry★kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)

※上記の★を@に置き換えてください。

★ ☆ ★ 2021年度「第6回辻村みちよ賞」募集のお知らせ ☆ ★ ☆

お茶の水女子大学賞「第6回 辻村みちよ賞」募集のご連絡をいただきましたので、お知らせいたします。締切は、2021年9月10日(金)17時必着となっております。募集要項等の詳細については、お茶の水女子大学 HP (<https://www.ocha.ac.jp/danjo/op/tmp/tmp2021.html>) よりご確認ください。

2021年度 第6回 辻村みちよ賞 募集のご案内

本学では、本学卒業後数多くの女子学生を育て、茶の成分について長年にわたって優れた研究を行い、日本初の女性農学博士として活躍した辻村みちよ氏の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、家政学・生活科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰することを目的として2016年に「辻村みちよ賞」を創設いたしました。このたび2021年度の募集を開始いたしましたので、お知らせいたします。

✽+++++

家族関係学部会

★を@に置き換えてください

メールマガジン配信アドレス：info★kazokukankeigaku.jp

家族関係学部会事務局アドレス：inquiry★kazokukankeigaku.jp

家族関係学部会ホームページ URL：http://www.kazokukankeigaku.jp/

✽+++++

2020 年度事業報告

1. 研究発表会、公開講演会等の開催

(1) 研究発表会

2020 年 10 月 11 日（日）に和洋女子大学での開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染状況をふまえて現地開催中止の判断をし、大会事務局を和洋女子大学、当日本部をお茶の水女子大学として、10 月 10 日（土）にオンライン（Zoom）で開催した。12 報告。

(2) 公開講演会・シンポジウム等

2021 年 10 月 10 日（土）に和洋女子大学において、部会 40 周年記念講演及び記念シンポジウム開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染状況をふまえて現地開催中止の判断をし、オンライン（Zoom）で開催した。

40 周年記念講演

講師 長津美代子氏

テーマ「家族関係学部会の 40 年の活動を振り返る—家族関係学の更なる発展を目指して—」

40 周年記念シンポジウム

テーマ「多様な関係性を持つ家族への理解と支援—ステップファミリーに注目して」

シンポジストと報告タイトル

基調講演 野沢慎司氏（明治学院大学）「ステップファミリーと『多様な家族』の限界—子どもの視点から壁を超える—」

講演 1 菊地真理氏（大阪産業大学）『『多様な家族』の限界への挑戦—再婚後の別居親子の継続と協働養育の実践』

講演 2 緒倉珠巳氏（ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン SAJ 代表）「支援を通して見えてきたステップファミリーの課題—20 周年を迎える SAJ の支援実践—」

参加者：40 周年記念行事 63 名、40 周年記念シンポジウム 66 名。

2. 部会誌の刊行

『家族関係学』No.39 2020 年 11 月 30 日印刷。12 月 24 日発刊 260 部

3. 研究及び調査の実施

本年度実施せず。

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

40 周年記念事業として優秀著書賞選考及び表彰を行った。優秀著書賞を安藤藍会員の『里親であることの葛藤と対処—家族的文脈と福祉的文脈の交錯—』（ミネルヴァ書房、2017 年 2 月）に授与し、賞状および副賞の贈呈を行った。

5. 内外の関連学協会との連携及び協力

本年度実施せず。

6. 出版

本年度実施せず。

7. 『家族関係学』のJ-STAGE 登載

『家族関係学』No.30 2020年7月17日に登載

No.31 2020年7月1日に登載

No.32 2020年6月17日に登載

No.33 2020年6月9日に登載

No.34 2020年5月26日に登載

No.39 2021年1月21日に登載

8. その他、目的を達成するために必要な事業

ニューズレターの発行2回 2020年6月27日、2021年2月15日

ホームページの更新11回

2020年6月17日、6月26日、7月9日、8月3日、9月4日、10月2日、10月10日、

10月27日、11月10日

2021年1月20日、3月4日

メールマガジンの発行3回（第15～17号）

2020年7月4日、7月31日、11月17日

9. 会員の状況（2021年3月31日現在）

会員総数191名（一般会員175名、名誉会員7名、学生会員9名）

以上

2020年度収支計算書

<③家族関係学部会>2020年度決算書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	注 意	予算	決算	差異	備 考
一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①基本財産運用益	(本部のみ)				
特定資産運用益	大会基金となっている定期預金の利息			0	
入会金				0	
年会費		870,000	838,000	32,000	
会誌購読料		33,750	32,340	1,410	
大会等参加費		371,000	20,000	351,000	
広告料				0	
刊行物売上		2,000	0	2,000	
著者負担金		10,000	12,000	▲ 2,000	
補助金	(名称と交付者を備考欄に記載願います。)			0	
一般寄付金	活動全般に使用してよい寄付金			0	
特別寄付金	使途を限定した寄付金			0	
雑収入	普通預金利息	100	2	98	
②本部からの支部費	(支部のみ、選挙の為の通信費も含む)			0	
本部からの支部活動活性化サポート費	(支部のみ)			0	
本部からの活動助成費	活動助成金全額(謝金の源泉徴収税も含む)	80,000	85,000	▲ 5,000	
経常収益計		1,366,850	987,342	379,508	
(2) 経常費用					
①事業費		1,713,000	934,823	778,177	
大会会場使用料		0		0	
大会講師謝金	謝金(源泉徴収税も含む総額)と講師への旅費交通費		11,137	▲ 11,137	長津先生
大会旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い			0	
大会消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む	290,000	75,695	214,305	著者賞選考用書籍、お弁当代
大会印刷費				0	
大会研究発表要旨集作成費		80,000	49,690	30,310	
大会通信運搬費		10,000	7,446	2,554	
大会臨時雇賃金				0	
総会費				0	
セミナー・講演会等会場使用料				0	
セミナー・講演会等講師謝金	謝金(源泉徴収税も含む総額)と講師への旅費交通費	160,000	77,959	82,041	シンポジスト3名
セミナー・講演会等旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い	22,000	8,120	13,880	実行委員会メンバー交通費
セミナー・講演会等消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む			0	
セミナー・講演会等印刷費				0	
セミナー・講演会等研究発表要旨集作成費				0	
セミナー・講演会等通信運搬費				0	
セミナー・講演会等臨時雇賃金		70,000	15,000	55,000	
学会誌等関連印刷費		320,000	252,340	67,660	部会誌No.39
学会誌等関連通信費		80,000	28,871	51,129	よしみ工産への委託2件
学会誌等関連原稿料・校閲料等		10,000	9,000	1,000	ネイティブチェック(東方学会)
学会誌等関連電子ジャーナル化費用		350,000	292,765	57,235	J-stageアップロード
研究補助費				0	
表彰費	奨励賞等	10,000	10,000	0	著者賞副賞
関連学会等会費				0	
会議費	会議用のお菓子、お茶等	25,000	0	25,000	
広報費	ホームページ等	60,000	43,119	16,881	
旅費交通費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する旅費交通費	10,000	0	10,000	
事務委託費		120,000	46,381	73,619	よしみ工産への委託(HPドメイン使用+在庫管理)
支払負担金	振込手数料	6,000	7,300	▲ 1,300	
雑費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する雑費	90,000	0	90,000	
②管理費		150,000	87,168	62,832	
給料手当		10,000		10,000	
福利厚生費					
旅費交通費	(本部のみ)				
通信運搬費	大会、セミナー・講演会関連以外の通信運搬費	80,000	55,254	24,746	
備品費				0	
消耗品費	大会、セミナー・講演会関連以外の消耗品	30,000	12,816	17,184	
光熱水料費					
雑費	(本部のみ)				
租税公課	(法人税、消費税等本部のみ計上)				
地代	(本部のみ)				
印刷費	大会、セミナー・講演会関連以外の印刷費	30,000	19,098	10,902	
修繕費					
減価償却費	(本部のみ)				
リース料					
事務所管理費					
退職給与引当金繰入額	(本部のみ)				
③支部費					
支部活動活性化サポート費	(本部の支出を計上する欄)				
活動助成費					
経常費用計		1,863,000	1,021,991	841,009	
当期経常増減額		▲ 496,150	▲ 34,649	▲ 461,501	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	(例えば不動産を売る等、通常の活動外での収入、支出なのでほぼ該当なし)				
(2) 経常外費用					
当期経常外増減額					
当期一般正味財産増減額		▲ 496,150	▲ 34,649	▲ 461,501	
一般正味財産期首残高	(2019年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	3,132,763	3,132,763	0	
一般正味財産期末残高	(2020年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	2,636,613	3,098,114	▲ 461,501	